

社会学

1 学年 前学期	チーフオーガナイザー：1 年次学年教育主任
----------	-----------------------

一般目標 (GIO)	人間は、独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解し、医療社会にも対応させる能力を身に付けられるよう努めたい。
授業担当者	服部 慶巨
教科書	「補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学」 服部慶巨 人間の科学社
参考図書	「人間生活の理論と構造」 夏刈康男（ほか）学文社
実習機材	なし ただし、自宅か大学でインターネットにアクセスできる環境があると効果的（パソコンや携帯電話などでよい）
評価方法 (EV)	最終試験と平常点（出席状況、受講態度など）により、総合的な評価をする。
学生への メッセージ	講義で語られた事象を「実践」しようとする、志の高い学生の参加を希望する。 なお、この科目は「単位」のために受講するというよりも、「自分（の評価）をもっと高めたい」という向上欲を満たすための受講という考えで臨んで欲しい。

日程	授業項目	授業内容・到達目標・学習方略 (SBOs)(LS)	授業担当者
4月15日(木) 2時間	ガイダンスおよび状況(状況)判断の方法	講義の方針、展開方法、目標、社会科学の基本的な思考方法などを確認する。	服部 慶巨
4月22日(木) 2時間	社会(学)とは何か?	「社会」というものの性質・構造について、身近な「社会問題」を用いて解説する。	同上
5月6日(木) 2時間	社会的動物としての人間	人間は他の動物とは“かなり”異なる存在であり、そして社会なしには決して生きられない存在である。そのような人間と社会の関わり的重要性について述べる。	同上
5月13日(木) 2時間	コミュニケーションと人間関係	医師・患者関係の好悪感情は、コミュニケーション・スキルによって変容する。ここから数回に亘って「コミュニケーション」の(本来的な)意味、構造などについて解説する。	同上
5月20日(木) 2時間	コミュニケーションと人間関係	コミュニケーションの機能(その行為の求めるところ)について解説する。	同上
5月27日(木) 2時間	コミュニケーションと人間関係	コミュニケーション上の留意点と問題点を解説する。	同上
6月3日(木) 2時間	コミュニケーションと人間関係(番外編)	これまで解説してきたことコミュニケーションの実際的な例として、「恋愛」を取り上げる。この問題が医師・患者関係ともよく似た構造を持っていることに留意したい。	同上
6月10日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	「人間」とはどのような存在を言うのか? どうすれば人間として認められるのか? そういった基本的事項について考える。	同上
6月17日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造	人間は、生命力のほかにも「演技力」がなければ「人間」として生きていくことは出来ない。では、どうやって演技すれば良いのか? その法則性を分析する。	同上
6月24日(木) 2時間	人間関係の諸相と構造(番外編)	よく「医者はいライ」などと言われるが、この世に病気というものがないとしても「医師」という職業は成り立つのだろうか? ここでは、医療スタッフと患者との関わりを分析する。	同上
7月1日(木) 2時間	ストレス社会	現代の日常生活には、「ストレス」「癒し」「カウンセリング」などの言葉が氾濫している。そもそも「ストレス」とはいったい何なのか? そして、どのような社会状況がストレスに結びつくのか、人間関係に重きを置いて解説していく。	同上
7月8日(木) 2時間	ストレス社会	近年、すぐに「キレル」「ムカつく」といった現象が多発している。そもそもストレスの原因は誰が作り上げているのか? なぜ、ストレスから逃れられないのか? 受講学生と考えていきたい。	同上
7月15日(木) 2時間	まとめ	全13回の講義で「社会学」の世界を十分に語ったとは言えないが、とりあえずここまで述べてきたことを振り返り、その中にある共通項を見つけ出し、終講としたい。	同上